

# 下関市立大学広報

## ゼミ特集臨時号



海峡の英知。未来へ そして世界へ。

公立大学法人

### 下関市立大学

Shimonoseki City University

2015年12月1日 ゼミ特集臨時号

発行：下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL. 083-252-0288

FAX. 083-252-8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

# 下関市立大学のゼミ 徹底解剖!!

**Pick up!**

関野ゼミ

## 現代資本主義と『資本論』研究

経済学科 教授 関野 秀明



私のゼミは、「現代資本主義と『資本論』研究」をテーマに勉強します。アベノミクス・量的金融緩和と貨幣流通論、社会保障削減と物神性論、長時間過密労働と剰余価値論、成果主義と出来高賃金論、非正規・派遣切りと資本と貧困の同時蓄積論、TPPと世界市場論、正社員リストラと相対的過剰人口論、金融危機と恐慌論、戦争法案と帝国論など現代資本主義的諸課題の「公的統計からの実証的理解」と「マルクス『資本論』からの理論的理解」を目指しています。

ゼミ生は全員、毎回A4判1頁分の「予習メモ」というレポートを執筆し、それを用いて質問を出し合い討論します。予習メモは回収後、質問への回答コメントを書き込んで翌週返却します。このような作業を年間約30回繰り返します。関野ゼミが目指す教育とは、どんな職場に就職しても仲間と協力して責任ある仕事をやり抜く力と同時に、企業社会の論理を相対化し批判的に生き抜く力、「成功は経営者・投資家の成果、失敗は労働者の自己責任」という偏見から自由になる力の育成を目指しています。



**Pick up!**

飯塚ゼミ

## 円と人民元の現状と未来を考える

国際商学科 教授 飯塚 靖

私のゼミでは、金融制度についての基礎的知識を身につけ、さらに日本の金融制度と比較しながら中国の金融制度について学び、存在感を増大させつつある人民元に対して、日本の金融・為替政策はいかにあるべきかを考察していきます。

具体的には、まず金融制度に関する入門的テキストの輪読を通じて、基礎的知識の修得を目指します。次に、日本の金融制度や国際金融についてより体系的に学び、さらに中国の金融制度と為替政策について学んでいきます。ゼミは3名から構成されるグループでの活動を基本とします。報告はグループごとに議論して準備し、討論もグループを単位とします。また、スピーチコンテストやディベートなどもグループ対抗で行います。



このように本ゼミは、金融制度に関する専門知識を学ぶだけでなく、報告やディベートを通じてプレゼンテーション能力を鍛えることを目標としています。また、コンパや夏合宿を通じてゼミ生が楽しく交流できる場を提供したいと考えています。



# 経済学科

## 外柵保ゼミ 地域経済を知る・分析する・検証する：経済地理学ゼミ

准教授 外柵保 大介

このゼミでは、次の3つの手法を組み合わせながら、ゼミを運営しています。第1に、製造業や流通業、サービス業、農業など地域経済に関する文献を読み、地域経済に関する知識や研究手法を学んでいます。第2に、コンピュータを用いた地域分析や地図を作成する方法を学んでいます。第3に、産業地域や都市・農村などを訪れるフィールドワークを通じて、地域の実態を現場から把握できるように努めています。これらを総合して、理論的・実証的に経済地理学の基礎的な研究手法を学ぶことを目的としています。

専門演習の総決算である卒業論文では、学生の興味・関心に応じて、地域の様々な産業や経済・社会がテーマとなりますが、学生の故郷が取り扱われることも多く、経済地理学的な視点を通じて分析することによって、故郷を再発見することにもつながっているようです。

経済地理学に関する教育をキャリア教育と有機的に関連付けしてゼミを運営しており、ゼミの卒業生は、地域の金融機関や民間企業などへ就職したり、公務員、教員などになったりしています。今後も地域経済の発展に寄与する人材の育成に貢献していきたいと考えています。



## 中川(真)ゼミ 経済政策を立案し提言するゼミ

准教授 中川 真太郎

私のゼミでは経済政策を学びます。活動の特徴は、3年生の時にWEST論文研究発表会に参加して政策提言を行うことにあります。

このWEST論文研究発表会は、例年、同志社大学で開かれ、大阪大学をはじめとする多くの大学の学生が研究班を組織して参加し、経済学の視点から政策提言を行っています。

私のゼミも、この研究会に参加して他大学の学生と競争しながら、社会の問題を分析し政策を提言してきました。政策を提言すると言っても、そのためには大変な準備が必要です。まずテーマを適切に設定し、現状をしっかりと分析し、先行研究を精査した上で、仮説を設定し、データを分析し、分析に基づいて実行可能で効果的な政策を提言しなければなりません。これは困難な作業ですが、例年、学生同士が作業を分担し、チームワークで乗り越え、政策を提言する論文を完成させてきました。



この経験は学生にとって大きな自信となり、卒業論文の執筆や、就職活動にも役立っているように思います。今後も、この研究会への参加を続けていきたいと考えています。

## 学生に聞きました! あなたのゼミはどんなゼミ?

難波ゼミ

4年 岡崎 愛華  
地域活動経験を活かしたキャリア形成 (広島県立大門高等学校出身)

ゼミでは、商店街での地域活動の経験を活かし、消費者心理を理論的に考えることを学びました。地域には、社会人になってから特に必要とされるであろう思考力を授けてくれる場面が多くあります。ゼミで理論的に学んできた内容に即し、ニーズ把握や市場分析の力が身につきました。特に、準備段階から関わったボランティア活動では、住民との対話を通して行うことで、創造的に取り組むことができました。ゼミで勉強した内容を盛り込んだ時には、身につけてきた知識が社会で活かせることを実感しました。地域活動の場では、社会の変化を感じることができ、また、人間関係の築き方や地域との関わり方を学ぶことができました。ゼミ内では、他学年の学生も一緒に活動に取り組むため、横の繋がりがだけでなく、縦の繋がりが強いです。今後ずっと交流は続くと思いますので、卒業後も楽しみです。



# 国際商学科

## 西戸ゼミ

### 「証券ゼミナール大会」への参加と取組

准教授 西戸 隆義

私のゼミでは3年生全員が毎年12月に東京で開催される「証券ゼミナール大会」というインターゼミに参加します。全国の31大学から750名余りの学生が集結する大会で、金融や証券の問題について学生達が二日間に渡って討論をします。ゼミでは討論のための論文を7月から10月にかけて4人一組のグループで執筆し、また報告用の資料をパワーポイントで作成します。3年生は初めての論文の執筆に戸惑いますが、そこは強い味方がいます。4年生です。ゼミナール大会を経験した彼らは、毎年3年生に対して論文を作成するに当たっての留意点や、ゼミナール大会本番でのディベートのポイントなどを3年生に伝授します。また、夏季休暇中に実施する合宿は、4年生が全て計画し、3年生を指導します。このように、私のゼミではゼミナール大会に向けて3、4年生が一体となって金融問題の研究に取り組めます。ゼミナール大会で鍛えられた学生達を見ると、以前よりも質問の受け答えなどがしっくりし、見違えるように成長しています。



## 山川ゼミ

### 世界経済の最前線：「場」としてのゼミ

准教授 山川 俊和

私のゼミでは、世界経済・国際政治経済学をテーマに勉強しています。学年と大学をこえ、ゼミ全体で学び・遊ぶがモットーです。通常の輪読だけでなく、工場見学や合同ゼミ、ゼミ合宿、コンパなどを定期的実施しています。ゼミでは、世界経済の諸問題を題材に、経済学の知識修得はもちろん、問題発見能力、論理的に物事を考え議論する能力、人前で明快に伝えるプレゼン能力を高めます。卒論を書き上げるまでのゼミの過程で、学生は見違えるように成長します。それが楽しみです。



現3年生(5期生)は、『日本の経済政策のオルタナティブを考える：貿易、金融、エネルギー』というタイトルで4万字程度の論文を書き、この9月に立教大学と同志社大学との合同ゼミで発表しました。その成果をもとに、山川ゼミの4年生と本格的なディベートをします(これが毎年白熱して盛り上がります!)。また、12月には西日本の政治経済学系ゼミが集まり、研究成果を競う予定です。

勉強は一人でするものですが、仲間やライバルがいると成果は何倍にもなります。山川ゼミはそんな場でありたいと思っています。

## 学生に聞きました! あなたのゼミはどんなゼミ?

森(幸)ゼミ

### “これから”につながる学び

4年 重松 志宙  
(崇徳高等学校出身)

私は森幸弘教授のゼミで企業のブランド戦略について研究しています。具体的には、基本的なブランド理論を学ぶとともに個別に企業の事例を取り上げ、各々の企業に対して、コンセプト、ポジショニング、コミュニケーション、ロジスティックスといった異なる4つの視点からブランド戦略を多角的に分析し議論を深めています。このゼミでの研究は就職活動において、単に企業規模や業績だけにとらわれない、より一歩踏み込んだ企業選びをする上で非常に役立ち、就職先の企業を決めるきっかけになりました。

またディベートなど、共通のテーマに対して全体で意見を交わす場において、相手の考え方や状況をしっかりと理解した上で意見を主張し、時には違う角度から議論を促すことによって議論に深みを持たせることにも努めてきました。この経験で培ったプレゼンテーション能力が、将来ビジネスの場において商品提案などの際に必ず活きたと考えます。



# 公共マネジメント学科

## 足立ゼミ

## 会計の知識を実務で活かすためには？

准教授 足立 俊輔

3年生の時は、まず会計の基礎を理解するために、会計のビジネス書を輪読するようにしています。今年度のゼミでは、財務分析の基本的な知識が問われる「ビジネス会計検定」という資格にチャレンジしており、夏休みに勉強会を設けて試験対策をした上で、9月に山口商工会議所に受験に向かいました。秋学期には、ビジネス会計検定の知識を活かして、実際の企業の財務データをゼミで話し合いながら分析するようにしています。

このように私のゼミでは、会計の基礎を勉強した上で、その知識を活かして簡単なコメントができるようになることを目標にしています。また、ゼミで資格試験にチャレンジしたことで、日商簿記検定など資格試験を受験しようとする学生の相談が増えたことから、ゼミ単位での資格取得の取組みには一定の効果があると感じています。

4年生で執筆する卒業論文は、ゼミ生の関心がある業界を選択させ、業界シェアの高い企業の経営戦略や財務分析について書いてもらうことにしています。



## 松本(貴)ゼミ

## フィールドで考える力を身につける

講師 松本 貴文

私のゼミでは、①地域にかかわる現象を理解するための視点と方法を身につけることと、②実際に現場に出かけデータを集め・考える力を身につけることの2点を重視しています。普段の授業では、①を目的とした関連文献の輪読が中心ですが、できる限り課外活動の時間を設けて、②に関連する学びの機会を提供できるように心がけています。平成27年度は、菊



川町のまちづくり団体が主催する都市農村交流イベントや、豊田町の農事組合法人の活動をお手伝いしました。この他にも、冬にかけて市民団体へのアンケート調査などを実施する予定です。

現在、まちづくりが大きなブームとなっていますが、それはこれまで地域を支えてきた仕組みが上手く機能しなくなっていることの表れでもあります。こうした状況の原因は何なのか、それを検討することなしに今後のまちづくりを考えることは困難です。ゼミ活動を通じて、めまぐるしく変化する社会の現実と直接触れながら、こうした問題を皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。

## 学生に聞きました! あなたのゼミはどんなゼミ?

川野ゼミ

4年 田口 智也

(長崎県立長崎北陽台高等学校出身)

### 用意周到の大切さ

川野ゼミでは毎週3~4班に分かれてテーマに沿ったプレゼンテーションを行います。ゼミを通して最も意識したことは「手間をかける」ことです。同一のテーマかつ10分という短い発表時間では、各班発表内容に大差はありません。しかし、発表に向けた準備時間が3時間の班と、追加資料の作成や想定される質問への準備に10時間をかけた班では、その差は歴然で評価も大きく異なりました。それゆえ、私たちのゼミには、その週のゼミが終了した時から次週へ向けての準備を開始させる「用意周到」な学生が揃っています。この意識が就職活動において、企業研究や面接対策に取り組む姿勢を生み出し、結果として納得のいく内定を獲得しました。最後に、川野ゼミでは就職活動本格化前に色紙に「就活決意表明」を記し、現在も研究室のドアに掲示しています。ライバルとして競い合い、仲間として助け合う、川野ゼミでは充実した2年間を送れます。



# ゼミ(専門演習)一覧

所属	職位	氏名	ゼミ概要
経済学科	准教授	森 邦恵	ミクロ・計量経済学の分析手法の修得を基本とし、身近な経済現象について検証します。
経済学科	准教授	素川 博司	日本経済の種々の問題点を、GDP などマクロ経済学の言葉で考え語れる力を養う。
経済学科	教授	関野 秀明	アベノミクスと貨幣流通論、金融危機と恐慌論など統計事実と古典理論とを往復学びます。
経済学科	教授	米田 昇平	現代をよりよく理解するために過去の様々な経済学説や社会思想を学びます。
経済学科	教授	水野 祥子	この演習では歴史を学び、世界情勢への理解を深めることを目標としています。
経済学科	准教授	中川 真太郎	このゼミでは、学生自ら社会の問題を分析し経済学の視点から政策提言を行います。
経済学科	准教授	佐藤 隆	ゲーム理論を応用して、様々な産業における企業の戦略的行動を考えます。
経済学科	講師	嶋田 崇治	文献輪読、現地調査、合同ゼミへの参加を通じて現代の財政問題に迫ります。
経済学科	教授	難波 利光	社会保障とまちづくりについて、福祉と経済の目線から地域に向いて考えます。
経済学科	准教授	田中 裕美子	ゼミでは、社会政策(雇用問題や社会保障制度など)について学んでいます。
経済学科	准教授	外畑保 大介	地域の産業や経済・社会について、経済地理学の視点から分析する手法を学ぶゼミです。
経済学科	准教授	杉浦 勝章	地域の問題に対して地域政策がどのように機能しているか、理論と現実両面から考える。
経済学科	教授	濱田 英嗣	水産等一次産業(食料経済)の過去・現状・将来をテーマにゼミを組み立てています。
経済学科	准教授	加来 和典	都市社会学の視点で、都市の構造や文化、住民の社会関係や意識を探究しています。
国際商学科	教授	飯塚 靖	金融制度についての基礎的知識を身につけ、さらに日本と中国の金融制度の特徴を探る。
国際商学科	准教授	中川 圭輔	「経営学全般」というテーマの下、業界研究報告と1万字レポートの完成を目指します。
国際商学科	准教授	西戸 隆義	主に金融の問題について研究します。研究成果は12月に証券ゼミナール大会で発表します。
国際商学科	准教授	山川 俊和	世界経済がテーマです。学年・大学の枠をこえて勉強します。挑戦し、楽しめる人を歓迎します。
国際商学科	教授	森 幸弘	企業の価値創造、競争優位の確立という視点から、「ブランド戦略」をとりあげている。
国際商学科	教授	柳 純	流通分野でも特に小売経営、そしてマーケティング、国際マーケティングに関係するテーマに取り組んでいます。
国際商学科	教授	萩原 久美子	労働からの解放か、排除か。社会変動の中にある「労働世界」の行方を考えます。
国際商学科	教授	村田 和博	経営管理論と経営組織論に関する知識を深めるゼミです。就職活動への支援も行っています。
国際商学科	教授	土屋 敏夫	使いやすいモノとはどのような商品なのか、実験や分析を通して明らかにしていきます。
国際商学科	教授	松本 義之	企業や社会において、利用されている情報システムとその活用例について学習します。
国際商学科	教授	藪内 賢之	科学的なマネジメント、システムの最適化、情報システムについて学びます。
国際商学科	教授	高橋 和幸	わが国会計制度の基本的論点を検討し、ビジネス社会での会計の重要性について学びます。
国際商学科	教授	平山 也寸志	民法に関する判例や社会問題などについてグループ討論をし、その成果を報告してもらっている。
国際商学科	講師	久保 佳納子	企業やビジネス活動の中で生じる様々な問題を、法律的観点から研究しています。
公共マネジメント学科	教授	桐原 隆弘	社会問題について哲学する! をモットーに、輪読と個人発表を通じて思索を深めます。
公共マネジメント学科	教授	水谷 利亮	「田舎」の地域づくりの現状と課題と可能性を議論とフィールドワークを通して学ぼう!
公共マネジメント学科	准教授	菅 正史	日本の都市の課題について、各都市固有の事情も考慮しながら、実証的に考えます。
公共マネジメント学科	教授	川野 祐二	ゼミの仲間たちとともに経営学を総合的に学び、マネジメントのセンスを身につけます。
公共マネジメント学科	准教授	足立 俊輔	実務の会計を理解するために、コンサル向けに書かれた会計の本を輪読しています。
公共マネジメント学科	教授	叶堂 隆三	現代社会の諸側面をテーマに選び、文献の講読や巡検を通して理解することをめざします。
公共マネジメント学科	教授	横山 博司	私のゼミでは、消費行動や教育問題に関するテーマについて研究します。
公共マネジメント学科	講師	松本 貴文	授業は文献の輪読が中心ですが、課外活動等フィールドで学ぶ機会も提供しています。
基礎教養	教授	櫻木 晋一	文献史料や考古資料などの史料論を基礎にした日本史研究の最前線を学びます。
基礎教養	准教授	佐藤 裕哉	フィールドワークなどを通して地理学の視点から地域を調査・分析する方法を学びます。
基礎教養	准教授	鈴木 陽一	変化を続ける現代経済の背後には国際社会の変容があります。これを掘り下げ学びます。
基礎教養	准教授	橘 誠	本ゼミでは、ゼミ生自らが関心のあるテーマを選択し、歴史的視点から追求しています。

※2016年度は上記のほか、開発途上国論、金融論、憲法のゼミも開講予定です。

# 下関市立大学から各地へ。活躍の場は全国に広がっています！

## 本学での学びが生きる！



国際商学科 4年 金光 江里香  
(広島県立福山誠之館高等学校出身)  
広島銀行内定

**Q. 4年間を振り返って、力を入れていたことは何ですか。**  
好奇心旺盛な性格のため、様々な新しいことに挑戦しました。今までしたことのないフットサルの部活動やアルバイトに加え、フルマラソンにも挑戦しました。これらの経験を通して、何事もやってみる姿勢と、やるからには諦めず継続し続けることの大切さを学び、就職活動ではもちろん、今後社会で必要な精神力と体力をつけることができたのではないかと思います。

**Q. 内定先の会社(業種)を選んだ理由は何ですか。**  
大学で一人暮らしを始めてお金と親の有難さを痛感し、地元地域や家族に対し恩返しという形で、地元広島県だけでなく4年間住んできた山口県含め中国地方全体に貢献できると思い選びました。また今まで興味を惹かれた科目を振り返り、ここでは自分がしたい業務に携わることができると確信したからです。

**Q. ゼミの学びで、何を学ぶことができましたか。**  
ゼミでは発表、ディスカッションをしました。1つの言葉でも様々な捉え方や、国籍によっても異なった意見があり、多方面から物事を考える力をつけることができました。就職活動で、少人数のワークで意見をまとめる際に、この多方面で考える力を活かすことができたと思います。



経済学科 4年 仙波 正寛  
(愛媛県立松山北高等学校出身)  
伊藤忠丸紅テクノスチール株式会社  
内定

**Q. 4年間を振り返って、力を入れていたことは何ですか。**  
多くの人・物に触れ、人生経験を増やすことです。考えていない、経験していないことに対しては理解もアウトプットもできません。自分の「引出し」を作らないと何も変えられないと考え、学生生活や趣味などで様々な経験をしました。今では入学当初に比べ、ゆとりを持って、広い視野で物事を捉えられるようになりました。

**Q. 内定先の会社(業種)を選んだ理由は何ですか。**  
業務内容と社風です。業界全体の動向を知れる、大きな枠組みで仕事をしたいと考えました。また、営業や事務という括りを超えて「商人」としてヒト・モノを調整し、収益をあげるというビジネスモデルに惹かれました。全国規模の企業において、商業の中心となる都市部で切磋琢磨できるという環境にも魅力を感じました。

**Q. ゼミの学びで、何を学ぶことができましたか。**  
コミュニケーション能力です。ゼミではグループで論文の作成や討論を行いました。そこで重要なことは延々と意見や反論を述べるのではなく、何を求められていて、どうすればより伝わるのかを考えながら行うことです。就職活動ではこうした経験から、焦らず普段通り考えながら話すことができました。

### 卒業生の声

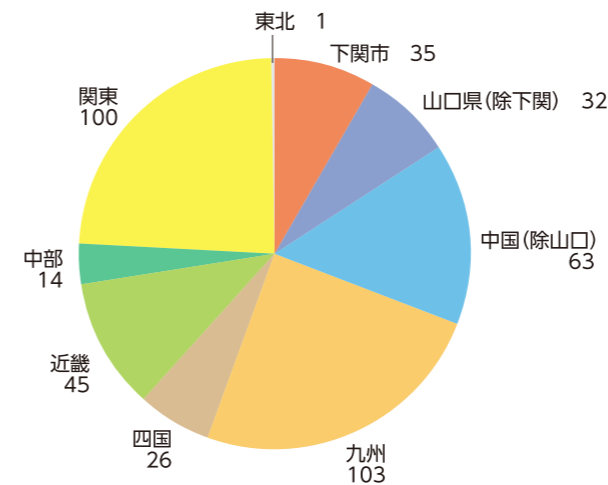
卒業生からもこんな声が届いています！

- ゼミで「物事に対してどのようにアプローチするのか」という基礎の部分をしっかり教えてもらった。社会に出てからも仕事、プライベート、あらゆる面で役立っている。
- ゼミでデータや文章をまとめたりする能力が身についた。人前で話す機会、意見を言う機会も多く、会社で発言する際も物怖じせず済んだ。
- ゼミで学習・卒業論文の執筆をし、答えを出すまでの過程の重要性、問題意識を持つということを学べた。このことは、仕事をしていく上で、言われたことをただこなすというだけでなく、自分で考えながらより効率良く働くにはどう動けば良いのか等、考える力になっていると思う。

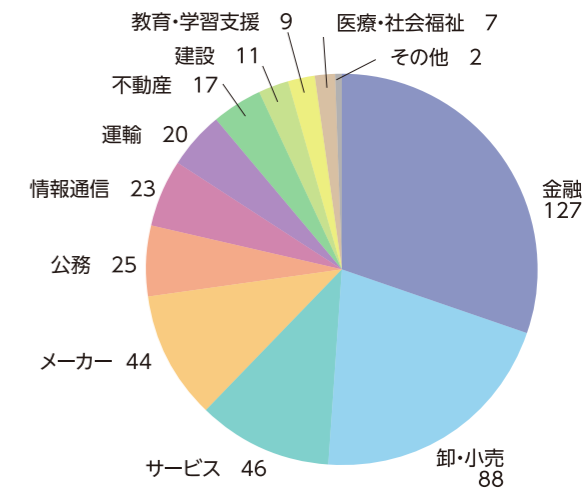
## 就職状況 (平成26年度実績)

# 就職決定率 98.4%

### 《地域別就職状況》 (単位：人)



### 《業種別就職状況》 (単位：人)



## 内定速報 (平成27年度)

### 金融

- 日本銀行
- 株式会社日本政策金融公庫
- 株式会社商工組合中央金庫
- 株式会社りそなホールディングス
- 株式会社中国銀行
- 株式会社広島銀行
- 株式会社福岡銀行
- 株式会社山口銀行
- 株式会社西京銀行
- 西中国信用金庫
- 新潟県信用保証協会
- 第一生命保険株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- 東京海上日動火災保険株式会社

### 卸・小売

- 伊藤忠丸紅テクノスチール株式会社
- トラスコ中山株式会社
- 東レインターナショナル株式会社

### メーカー

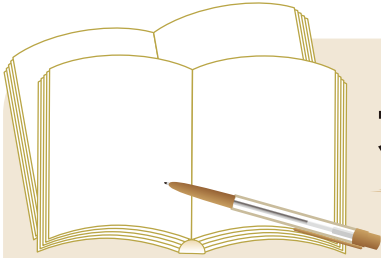
- 日立コンシューマ・マーケティング株式会社
- パナソニックコンシューマ・マーケティング株式会社
- ユーシーシーフーズ株式会社
- 菱洋エレクトロ株式会社
- 株式会社セブン・イレブン・ジャパン
- 株式会社トライアルカンパニー
- 旭化成株式会社
- 井関農機株式会社
- 科研製薬株式会社
- キヤノン株式会社
- 住友電装株式会社
- ゼリア新薬工業株式会社
- 株式会社長府製作所
- 林兼産業株式会社
- 株式会社ナイガイ
- 日本電産株式会社
- 日鉄住金高炉セメント株式会社
- 株式会社レナウン
- 六甲パター株式会社

### その他

- 三井不動産リアルティ中国株式会社
- 三菱地所コミュニティ株式会社
- 三菱電機ビルテクノサービス株式会社
- 関光汽船株式会社
- 株式会社近鉄エクスプレス
- 株式会社JALスカイ
- 九州旅客鉄道株式会社
- ANAエアポートサービス株式会社
- 日本通運株式会社
- 株式会社JTB九州
- 株式会社JTB中国四国
- 東武トップツアーズ株式会社
- 国家公務(運輸局、国税局、地方整備局)
- 県庁(鹿児島)
- 市役所(下関、長崎、備前)
- 警察(警視庁、香川県、神奈川県、岐阜県、山口県)
- 東京消防庁

ほか多数

授業やゼミでの学びの成果がキャリアに活かせるよう、全力で支援します！



# 大学教育におけるゼミの重要性

国際商学科 准教授 山川 俊和

文化人類学者の船曳健夫氏は、著書『大学のエスノグラフィ』の中で「もっとも大学らしい知の形式とはゼミのことだ」と論じている。その通り、だと思う。ゼミは通常の講義で代替できる類のものではない。私のゼミ紹介にも記したように、ゼミとは「場」である。教員と学生が真剣に向き合い、学生間で切磋琢磨する。勝ち負けではなく、ライバル心と仲間意識を兼ね備えて互いに高め合っていく切磋琢磨こそが、ゼミの醍醐味なのである。このゼミという場で化学反応が起こり、学生達は大きく成長していく。

今回の広報臨時号では新たな試みとして、下関市立大学のゼミを特集し、学内外に広く知ってもらおうことを目指した。どの程度お伝えすることに成功したかは、読者諸兄姉の感想を待つ他ない。編集の意図としては、本学には経済学を中心に多様な魅力的なゼミがあること、学生の切磋琢磨と成長を引き出していることが分かるよう心がけた。最近の大学業界を見渡してみると、私立大学を中心にゼミ・卒業論文を必修としないところも少なくない。入ゼミできない学生が相当割合ある場合や、非常勤講師がゼミを担当することもある。一方、本学のゼミは、全ての学生に専任教員によるゼミが準備されている。このことは強調しておくべき本学の大きな魅力のひとつである。



ゼミでのディベート大会の様子

## 平成28年度 入試情報

- 西日本にある経済学部で唯一、公立大学中期日程を実施！
- 中期日程において名古屋会場を新設！
- 大学入試センター試験の高得点科目の比重を高めるシステムを採用！

区分	日程	出願手続期間	試験日	試験会場	合格発表
一般選抜	前期日程	1月25日(月)	2月25日(木)	下関 大阪 広島 福岡	3月 6日(日)
	公立大学 中期日程	2月 3日(水) ※消印有効	3月 8日(火)	下関 名古屋 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島	3月21日(月)

